

第5章

リーディングプロジェクト

- 1．リーディングプロジェクトの趣旨
- 2．リーディングプロジェクトの施策

第5章 リーディングプロジェクト

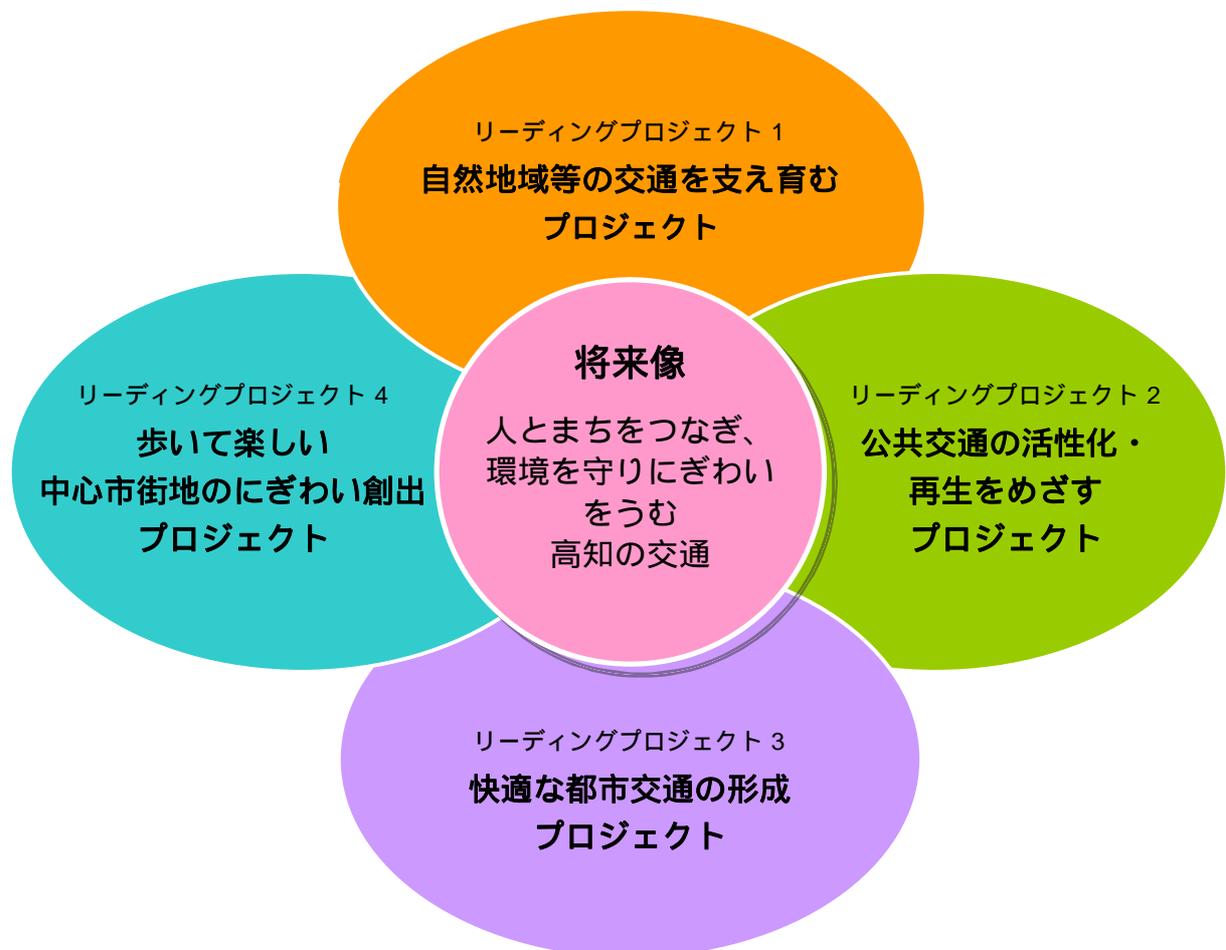
1. リーディングプロジェクトの趣旨

1) リーディングプロジェクトとは

リーディングプロジェクトは、基本構想で定めた4つの基本目標別に施策を展開することに加えて、基本目標や基本方針の垣根を越えて、各施策間の横の連携を図りながら、施策を単独で実施するのではなく、一体的に施策を進めることを目的に設けています。

また、リーディングプロジェクトは、高知市を取り巻く主要な交通の課題解決に向けて、重点的かつ優先的に取り組む必要がある対策について、複数の施策をパッケージ化し、市民・事業者・行政が連携・協働のもとに、基本計画を牽引する役割を担っています。

リーディングプロジェクトの概念



2) 4つのリーディングプロジェクト

基本計画で策定した34施策の中から抽出した12の施策について4つのリーディングプロジェクトを設定します。

12の施策は、以下の方針により抽出します。

< 施策抽出の方針 >

- ・ 公共交通、自動車交通、徒歩・自転車交通に関する施策を、それぞれ抽出し、パッケージ化することで各交通手段における施策の実施効果を高めます。
- ・ 市の現状と課題を踏まえて、都心ゾーン、既成市街地ゾーン、周辺市街地ゾーン、中山間地域ゾーン、田園地域ゾーンにおいて取組の必要性が高く、関連性のある施策を抽出します。

この方針に基づき、各リーディングプロジェクトの最終の姿を設定します。

1：自然地域等の交通を支え育むプロジェクト

地域社会全体で公共交通を支えていく意識の醸成を図ります。
最終の姿として、公共交通空白地・不便地を有する自然地域における地域交通の導入に向けた取組を進めます。

2：公共交通の活性化・再生をめざすプロジェクト

公共交通の利用者離れを改善するために、分かりやすい公共交通情報の提供を進めるとともに、運営の効率化に向けた取組を進めます。
最終の姿として、公共交通の利用者が増加し、活気のある公共交通の形成により、高知市全体の活性化をめざします。

3：快適な都市交通の形成プロジェクト

エコ通勤の普及や交通結節点の機能向上により、快適な交通環境の整備を実施します。
最終の姿として、公共交通と自動車交通のベストミックス化（最適な組み合わせ）を進め、車依存からの脱却と円滑な都市交通の形成をめざします。

4：歩いて楽しい中心市街地のにぎわい創出プロジェクト

歩いて楽しい中心市街地の形成と公共交通の利用促進を実施します。
最終の姿として、追手筋などを歩行者等が優先された通りとしていく整備を検討します。

2. リーディングプロジェクトの施策

1: 自然地域等の交通を支え育むプロジェクト

< 最終の姿 >

地域社会全体で公共交通を支えていく意識の醸成を図ります。
公共交通空白地・不便地を有する自然地域等における地域交通の導入に向けた取組を進めます。



< 対象ゾーン >

田園地域ゾーン

中山間地域ゾーン

< 対象となる交通手段 >

公共交通



< 対象となる施策 >

施策 1: 多様化するニーズに即した公共交通の確立

施策 24: 自然地域等における地域交通の導入

施策 30: 地域内連携協議会と行政とのしくみの構築

公共交通の確立への意識の醸成

施策 1：多様化するニーズに即した公共交通の確立

利用者ニーズを把握し、それにふさわしい交通手段の確立を図るとともに、公共交通の利用促進の広報活動などを実施することにより、地域社会全体で公共交通を支えていく意識の醸成を図ります。



自然地域等における地域交通の導入

施策 24：自然地域等における地域交通の導入

公共交通空白地・不便地の住民の地域交通として、地域特性に応じた車両やデマンド交通や路線定期運行などの運行形態を検討し、地域交通の導入に向けた取組を進めます。



連携・協働の仕組みづくり

施策 30：地域内連携協議会と行政とのしくみの構築

地域内の様々な組織が連携をしながら、行政と協働することで、交通環境に関することを共有できる仕組みづくりを構築します。



2：公共交通の活性化・再生をめざすプロジェクト

<最終の姿>

公共交通の利用者離れを改善するために、分かりやすい公共交通情報の提供を進めるとともに、運営の効率化に向けた取組を進めます。

公共交通の利用者が増加し、活気のある公共交通の形成により、高知市全体の活性化をめざします。



<対象ゾーン>

市内全域

<対象となる交通手段>

公共交通

<対象となる施策>

施策 3：公共交通の運営の効率化

施策 8：分かりやすい公共交通情報の提供

施策 18：都市内公共交通の形成



公共交通を利用しやすい環境づくり

施策 8：分かりやすい公共交通情報の提供

時刻表や路線図などの必要な情報を分かりやすく提供できるように、バス停などの環境改善を図ります。

また、交通事業者とともに、公共交通の利用促進等を目的としたガイドマップなどを作成します。



公共交通の再生

施策 3：公共交通の運営の効率化

持続可能な公共交通としていくため、官民による運営形態のあり方について検討すると同時に、各交通事業者や事業者間の連携による運営の効率化に向けた取組を進めます。



公共交通の活性化

施策 18：都市内公共交通の形成

路面電車と路線バスによる合理的で効率的な都市内公共交通を形成します。

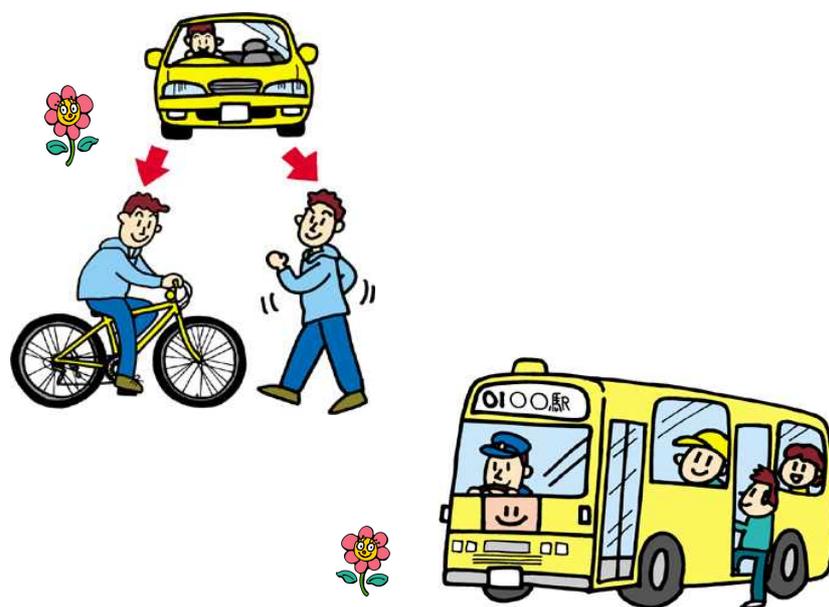


3：快適な都市交通の形成プロジェクト

<最終の姿>

エコ通勤の普及や交通結節点の機能向上により、快適な交通環境の整備を実施します。

公共交通と自動車交通のベストミックス化(最適な組み合わせ)を進め、車依存からの脱却と円滑な都市交通の形成をめざします。



<対象ゾーン>

市内全域

<対象となる交通手段>

公共交通

自動車交通



<対象となる施策>

施策 5：エコ通勤の普及

施策 17：交通結節機能の強化

施策 20：パークアンドライド・サイクルアンドライドの推進

交通手段を考えるきっかけづくり

施策 5：エコ通勤の普及

自動車通勤の過度のマイカー利用を抑制するため、ノーカーデーの普及に向けて、実施日の拡大に取り組みます。

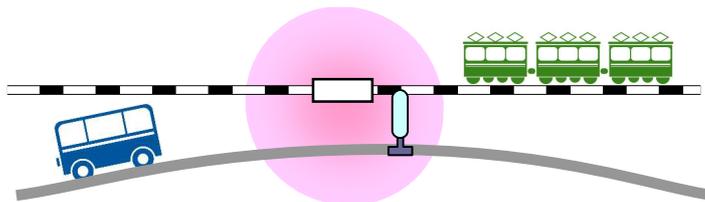


公共交通の利用環境向上

施策 17：交通結節機能の強化

複数の公共交通機関に乗り換えができる地域ターミナルや乗換ポイントを選定し、乗換施設や案内施設の整備などを行います。

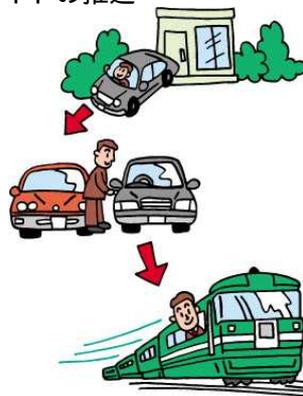
また、民間施設との連携することにより、待合空間の確保を図ります。



自動車と公共交通のベストミックス化の推進

施策 20：パークアンドライド・サイクルアンドライドの推進

パークアンドライド・サイクルアンドライドに関する情報を発信することにより、利用促進を図るとともに、交通事業者や民間事業者と連携して、新たな駐車場・駐輪場の候補地を検討します。



4：歩いて楽しい中心市街地のにぎわい創出プロジェクト

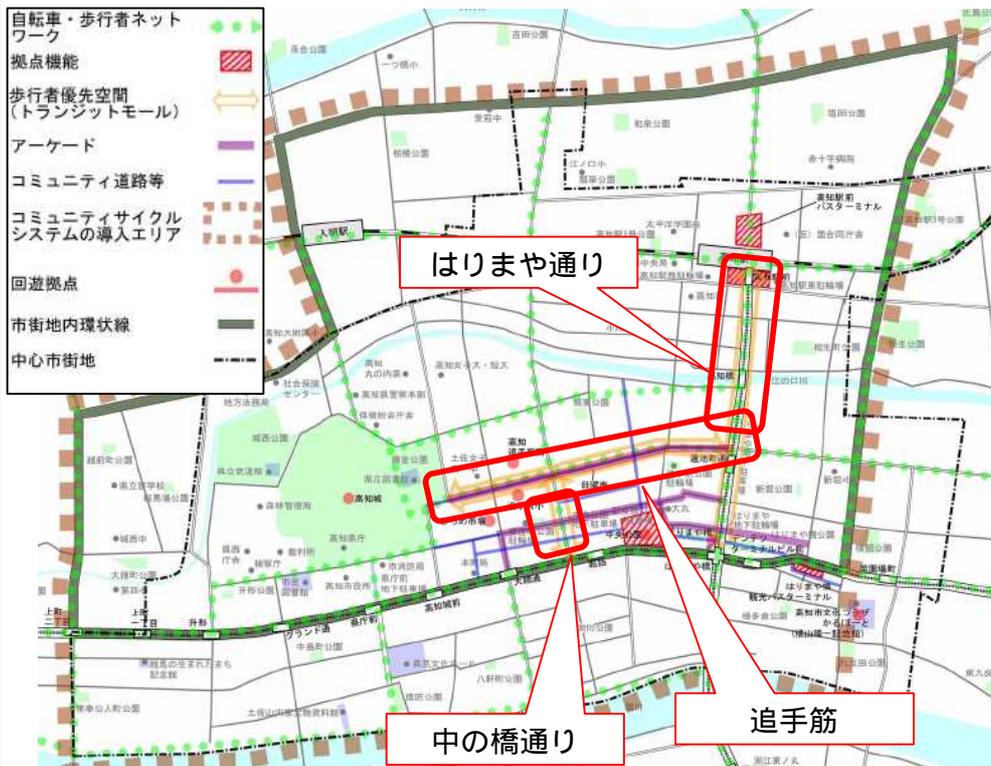
<最終の姿>

歩いて楽しい中心市街地の形成と公共交通の利用促進を実施します。
追手筋などを歩行者等が優先された通りとしていく整備を検討します。

<対象ゾーン>

都心ゾーン

実施場所（予定）



<対象となる交通手段>

自動車交通

徒歩・自転車交通

<対象となる施策>

施策 27：自転車と歩行者が快適に通行できる空間づくり

施策 28：歩行者優先空間の検討

施策 29：中心部における自動車通過交通の抑制

基盤整備

施策 29：中心部における自動車通過交通の抑制

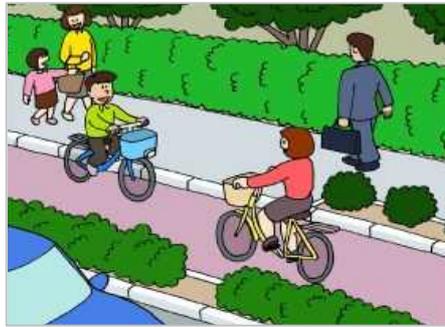
市街地内環状線の都市計画道路の早期整備と、交差点の改良や交通規制などにより、市内中心部の過度の自動車通過交通の排除を図ります。



きっかけづくり

施策 27：自転車と歩行者が快適に通行できる空間づくり

まち歩きしなくなるような快適な空間を創出するため、公共交通・自転車・徒歩の利用を促すイベントなどを実施します。



歩いて楽しい中心市街地へ

施策 28：歩行者優先空間の検討

歩行者を中心とした道路空間の形成に向けた課題の把握や体制づくり・仕組みづくりを商店街や利用者とともに検討し、歩行者等が優先された通りとなるような整備を検討します。

